

令和6年度

定時総会議案書

日 時 令和6年6月6日（木）
午後1時30分開会
場 所 倉敷市芸文館 ホール



公益社団法人 倉敷市シルバー人材センター

[シルバー人材センターの基本理念]

自主・・・自分たちで考え

自立・・・自分たちの力で育て

共働・・・一緒になって働き

共助・・・共に助け合う

「輝くシルバー（生きいき高年齢者）」

豊かな人材（豊富な知識・経験）

「活力あるセンター（にぎやかに集う所）」を目指して



令和6年度定時総会次第

1 開 会

2 理事長あいさつ

3 議長選出

4 定足数報告

5 議事録署名人の選出

6 報 告

第1号報告 監査報告について

第2号報告 令和5年度事業報告について

第3号報告 会員就業規約の改正について

7 議 事

第1号議案 令和5年度決算について

第2号議案 役員を選任について

第3号議案 理事長に対する権限委任について

8 閉 会

9 アトラクション

「健康増進 いつまでも元気で働く為に」

一般社団法人岡山県笑いヨガ協会 代表理事 万代 京央子 氏

目 次

1. 報告

第1号報告 監査報告について	1
第2号報告 令和5年度事業報告について	2
I 概 要	3
II 事業実績の概要	3
III 事業の実施状況	4
IV 会員の状況	9
V 事業実績	11
VI 行事及び会議開催	14
第3号報告 公益社団法人倉敷市シルバー人材センター 会員就業規約の改正について	19

2. 議案

第1号議案 令和5年度決算について	22
貸借対照表	23
正味財産増減計算書	24
正味財産増減計算書内訳表	26
財務諸表に対する注記	28
財産目録	30
第2号議案 役員を選任について	31
第3号議案 理事長に対する権限委任について	34

3. 資料

(1) 令和6年度事業計画	36
(2) 令和6年度収支予算書	41

監 査 報 告 書

令和6年5月7日

公益社団法人倉敷市シルバー人材センター

理事長 内海 彰也 様

公益社団法人倉敷市シルバー人材センター

監 事 中濱 宗

監 事 藤澤 純一郎

私達は、公益社団法人倉敷市シルバー人材センターの定款第24条の規定に基づき、令和5年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告する。

1 監査の方法の概要

- (1) 会計監査については、会計帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて実施した。
- (2) 業務監査については、実施事業の報告を聴取するとともに業務実績書類の閲覧など、必要と思われる監査手続きを用いて実施した。

2 監査結果

- (1) 公益社団法人倉敷市シルバー人材センターの令和5年度の計算書類及びその附属明細書は、公益法人会計基準に準拠しており、公益社団法人倉敷市シルバー人材センターの正味財産増減の状況及び財政状態を適正に表示しているものと認める。
- (2) 公益社団法人倉敷市シルバー人材センターの令和5年度の事業報告及び附属明細書の内容は真実であり、法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認める。
- (3) 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

第2号報告

令和5年度事業報告について

令和5年度公益社団法人倉敷市シルバー人材センター事業報告について、定款第39条第2項の規定により報告します。

令和6年6月6日提出

公益社団法人倉敷市シルバー人材センター
理事長 内海 彰也

令和5年度事業報告

I 概要

岡山県内の雇用情勢は、令和5年2月に1.58倍（全国1.34倍）であった有効求人倍率が、令和6年2月には1.48倍（全国1.26倍）となり、求人の持ち直しの動きに足踏みがみられます。

このような状況の中、当シルバー人材センターにおきましては、会員、役職員が共にシルバー事業の推進に最大限努めてまいりました。

5月には、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことから、それまでのような感染対策を取る必要がなくなり、ある程度コロナ禍以前の活動状況に戻りつつあります。しかし、就業機会創出員による企業・家庭への面談による就業開拓や役職員による街頭キャンペーンを控えたこと、そして改正高年齢者雇用安定法に基づく施策の影響などから、シルバー事業全般に様々な影響を及ぼしています。

令和5年度の主な事業実績の内、会員数につきましては、昨年度の大幅減少に歯止めをかけるべく会員増強に努力した結果、31名の増加、対前年度比102.2%という結果になりました。

また、受注件数につきましては、請負・委任事業については、対前年度比95.0%、人材派遣事業についても対前年度比89.5%の減少となりました。

契約金額につきましては、請負・委任事業については、対前年度比103.6%、独自事業以外は増加となり、人材派遣事業については、対前年度比99.6%の減少となりました。

以下、諸事業の実施状況を次のとおり報告いたします。

II 事業実績の概要

区 分	令和5年度	令和4年度	前年度対比(%)	
会 員 数 (人)	1,411	1,380	102.2	
就 業 人 員 (人)	1,191	1,222	97.5	
就 業 率 (%)	84.4	88.5	95.4	
請 負 ・ 委 任	就業延人員 (人)	105,162	108,161	97.2
	受注件数 (件)	10,285	10,824	95.0
	公 共	230	232	99.1
	企業等	986	1,067	92.4
	個人・家庭	9,067	9,523	95.2
	独自事業	2	2	100.0
	契 約 金 額 (円)	495,499,667	478,509,900	103.6
	公 共	194,761,838	183,503,421	106.1
	企業等	115,851,047	114,197,596	101.4
	個人・家庭	183,718,982	179,498,783	102.4
	独自事業	1,167,800	1,310,100	89.1
	配 分 金 (円)	396,426,705	389,838,859	101.7

区 分		令和5年度	令和4年度	前年度対比(%)
人 材 派 遣	登録会員(人)	136	116	117.2
	就業実人員(人)	130	141	92.2
	契約件数(件)	(公共)3(民間)99	(公共)2(民間)112	89.5
	契約金額(円)	87,980,678	88,347,719	99.6
	支払賃金(円)	70,143,378	70,484,780	99.5
	拠点委託費(円)	8,162,219	8,174,004	99.9
契約金総額		583,480,345	566,857,619	102.9

Ⅲ 事業の実施状況

1 シルバー人材センター事業の普及啓発活動

シルバー事業の理念を地域に広く周知し、事業の発展・拡大を図るため、様々な機会をとらえて普及啓発活動を実施しました。

(1) 市広報及び報道機関を活用した普及啓発

市の広報紙の活用、報道機関への情報提供等による普及啓発活動を実施し、シルバー事業のPRに努めました。

(2) ホームページ等を活用した普及啓発

当センターのホームページ、デジタルサイネージによる画像等の配信、路線バスの車両広告等により事業内容を分かりやすく情報提供するよう努めました。

(3) ラジオ番組出演による情報発信

FMくらしきに毎月1回、会員と事務局職員が出演し、会員の体験談や入会説明会の案内等により情報発信に努めました。

(4) 地域イベントへの参加

女性対策委員会を中心に「いきいきふれあいフェスティバル」(10月)「JFE西日本フェスタ in くらしき」(11月)に参加し、会員手づくりの手芸品、せっけんなどを販売するとともに、会場ではリーフレットやポケットティッシュを配布しました。

(5) お仕事紹介フェアへの参加

「シニアのための就職相談会」(10月)のイベントに参加し、シルバー事業のPRに努めました。

(6) 「会員手づくりの店」の運営

女性会員による手づくりの袋物、人形、マフラー、ベスト、干支ストラップ、せっけん等を展示販売し、多くの市民に好評でした。

2 会員の増強

原則として毎月(1・2月を除く)第2水曜日に入会説明会、第3水曜日に入会登録会を本部及び真備支所で実施しました。

上記以外に、玉島市民交流センター、児島市民交流センター、水島愛あいサロン、船徳連絡所及びハローワークで入会説明会及び入会登録会を実施しました。また、オンラインでの入会説明会参加も可能になりました。

入会説明会には331名(内オンライン62名)の参加者があり、その内23

2名の新規入会がありました。病气、加齢等による退会者も201名あり、会員数は、前年度より31名増の1,411名となりました。

3 就業機会の確保と拡大

(1) 就業開拓

会員の多様な就業ニーズに応えるため、また、一人でも多くの会員が就業の機会を得られるよう、各地区に配置した就業機会創出員、地域班長等が、一般家庭にチラシをポスティングし、並びに公民館、憩の家等公共施設にチラシ及びポケットティッシュを設置し、シルバー事業のPRを行うなど受注の拡大に努めました。

令和5年度就業機会創出員による活動状況（5月～3月）

地区	創出員数	就業日数	就業時間	訪問件数	面接件数
倉敷	4名	415日	2,075時間	30,883件	0件
水島	2名	184日	920時間	9,158件	0件
児島	2名	232日	1,160時間	12,726件	0件
玉島	2名	139日	695時間	5,248件	0件
真備	0名	0日	0時間	0件	0件
船穂	1名	86日	430時間	7,284件	0件
計	11名	1,056日	5,280時間	65,299件	0件

また、11月から12月にかけてシルバー人材センター作成のカレンダー、リーフレット等を持参して、シルバー会員の継続就業及び新たな受注の拡大に努めました。

さらに、今後の高齢社会の進展に対応して創設した「シルバーレンジャー隊」は、現在92名の会員が登録し、高齢者及び一人世帯の日常生活を機動的にサポートするなど、就業機会の拡大に努めています。

(2) 講習会等

発注者のニーズに応えられるよう、「草刈講習会」、「剪定会員養成講習会」等を実施し、会員の技能習得及び知識の向上に努めました。

「剪定会員養成講習会」には、29名が受講し、6名が剪定会員として合格しました。

また、発注者への、より一層、親切・丁寧な対応を図るための自己啓発講座としまして、「接遇・マナー講座」、「アンガーマネジメント講座」を開催しました。

特に、デジタル化による事務処理の効率化を推進するため、会員のデジタル能力の向上を目的として、スマホ教室を11回開催し、136名が受講しました。

研修会、講習会等の実施状況

講座名	回数 (回)	実人員 (人)	備考
剪定会員養成講習会(10日間/回)	2	29	合格6名
リフレッシュ講習会(安全運転講習)	4	11	
生活支援訪問サービス従事者研修	3	47	修了者37名
保育サポーター養成講習会	1	14	修了者13名
接遇・マナー講座	4	56	
アンガーマネジメント講座	2	28	
草刈講習会	4	64	
初心者剪定講習会	1	19	
ごみの分別方法の講座	2	78	
スマホ教室	11	136	
悪徳商法撃退法講座	1	18	
介護送迎運転者講習会	1	10	修了者10名
健康講座	1	15	
交通安全講座	2	52	
認知症予防講座(笑いヨガ)	2	39	
上手な大掃除の仕方講座	1	28	
相続の基本講座	1	45	
男の調理講習会	1	16	
朗読講座	2	24	

4 安全・適正就業の推進

会員の就業中又は就業途上での事故防止及び適正な就業を図るため、安全・適正就業委員会を中心に組織的な安全・適正就業に取り組みました。

(1) 安全就業

「安全ニュース」を年2回(7月・1月)発行し、事故の予防対策及び発生情報を掲載し、会員一人ひとりの安全への自覚を喚起しました。

また、安全・適正就業委員及び安全推進員による就業現場の安全パトロールを年間49箇所を実施し、現場での注意及び指導を行いました。

令和5年度安全パトロール実施状況

	実施期間	実施箇所数	実施延日数	実施延委員数
本部・船穂連絡所	8/29～3/18	14箇所	13日	22名
真備支所	8/21～2/15	35箇所	7日	14名
計	8/21～3/18	49箇所	20日	36名

就業中の事故件数は、次表のとおりです。飛び石等の事故防止を目的に「草刈講習会」を2月に4回開催し64名が参加しました。

事故発生件数(請負・保険適用)

年度	傷害	損害賠償	計
令和4年度	8件	4件	12件
令和5年度	12件	10件	22件

事故発生件数(人材派遣・労災保険適用)

年度	通勤災害	業務災害	計
令和4年度	0件	1件	1件
令和5年度	0件	0件	0件

今後とも会員一人ひとりが「安全就業基準」を守り、「事故ゼロ」に繋がるよう引き続き更なる安全意識の高揚に努めます。

(2) 適正就業

シルバー事業本来の適正で適切な就業を行うため、「就業の基準に関する要綱」に基づき、放置自転車等街頭指導、駐輪場及び公共的就業場所での長期継続就業の解消を図るとともに、ローテーション就業の推進に努めました。

また、適正就業の徹底を図るため、厚生労働省等作成の「シルバー人材センター適正就業ガイドライン」に基づき、役職員、発注者及び会員に対し、指導等を行いました。

5 労働者派遣事業（シルバー派遣事業）の促進

会員の多様な働き方の選択肢及び就業機会の拡大を図るため、企業等において社員との混在就業及び指揮命令下での就業が可能な「労働者派遣事業」を推進しました。その結果、契約件数は12件の減少となり、契約金額は36万円余の減となりました。

6 高齢者活用・現役世代雇用サポート事業の促進

国の補助事業として、サービス業等の人手不足分野及び介護・育児等の現役

世代を支える分野での就業機会の開拓及びマッチングを図り、高齢者の活用を推進することにより、地域の企業活動及び経済・社会の活性化を図りました。

7 子育てママと高齢者等の生活介護支援事業の実施

寝たきり高齢者及び障がい者への話し相手などの福祉サービスが19件、家事援助サービスが389件、育児支援サービスが6件の合計414件の支援を行いました。

また、社会福祉協議会等の福祉団体による生活支援サービス事業者間連絡会議に出席し、情報交換と連携を図りました。

さらに、会員の知識・技術と就業意欲の向上を図るため、保育サポーター養成講座を1回実施し、14名が受講、13名が修了し、生活支援訪問サービス従事者研修を3回実施し、47名が受講、37名が修了しました。

8 有料職業紹介事業の実施

有料職業紹介事業の要請はなく、実施はありません。

9 ボランティア活動と地域貢献

シルバー事業の活動基盤となる地域社会への貢献の一環として、児島湖流域清掃大作戦に参加しました。

また、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことから、福祉施設への慰問活動を再開し、3施設へ慰問を行いました。

IV 会員の状況（令和6年3月31日現在）

(1) 会員数

男 977人 女 434人 計 1,411人

(2) 会員の年齢構成

男女別 年齢別	男 (人)	女 (人)	計 (人)	構成比 (%)
60才未満	0	0	0	0
60才～64才	32	32	64	4.5
65才～69才	122	82	204	14.5
70才～74才	322	119	441	31.3
75才～79才	301	122	423	30.0
80才～84才	152	64	216	15.3
85才～	48	15	63	4.4
計	977	434	1,411	100.0

(3) 会員の平均年齢

男 75.3才 女 74.2才 全体 75.0才

(4) 会員の移動状況

区分	男女別	男 (人)	女 (人)	計 (人)
年度当初会員数		968	412	1,380
5 年 度	入会会員	150	82	232
	退会会員	141	60	201
	差引増減	+9	+22	+31
年度末会員数		977	434	1,411

(5)入会者の入会動機

入会会員

	男	女	合計
生きがい、社会参加	58	44	102
仲間作り	7	3	10
時間的余裕	40	13	53
健康維持・増進	21	10	31
経済的理由	21	10	31
その他	3	2	5
合計	150	82	232

(6)退会者の退会理由

退会会員

	男	女	合計
病気	44	15	59
シルバー事業を通じて就職	2	0	2
その他で就職	9	5	14
死亡	11	4	15
転居	3	2	5
希望する仕事なし	1	4	5
就業機会なし	8	6	14
家庭の事情(介護等)	4	4	8
会費未納	22	9	31
加齢	19	6	25
他団体への加入	0	0	0
センター運営に対する不満	1	0	1
未回答(不明)	0	0	0
その他	17	5	22
合計	141	60	201

V 事業実績

(1) 月別事業実績

【請負・委任】

区分 月別	件数 (件)	延日人員 (人)	請負金額 (単位:円)			
			配分金	材料費	事務費	計
4	941	7,352	24,739,735	3,064,730	2,992,457	30,796,922
5	856	8,783	31,484,814	5,179,918	3,814,271	40,479,003
6	733	9,417	34,543,549	6,479,860	4,182,548	45,205,957
7	822	9,667	35,458,704	6,254,187	4,257,916	45,970,807
8	1,074	9,665	32,294,348	5,171,087	3,918,561	41,383,996
9	1,220	10,149	36,678,189	6,360,100	4,428,034	47,466,323
10	1,120	10,997	45,595,875	3,372,205	4,997,951	53,966,031
11	874	9,751	42,348,478	3,738,833	4,705,211	50,792,522
12	1,094	8,734	33,661,665	2,835,059	3,827,193	40,323,917
1	370	6,340	25,579,403	2,153,548	2,861,899	30,594,850
2	361	6,400	24,060,229	1,996,382	2,727,354	28,783,965
3	820	7,907	29,981,716	6,215,710	3,537,948	39,735,374
合計	10,285	105,162	396,426,705	52,821,619	46,251,343	495,499,667
平均	857	8,764	33,035,559	4,401,802	3,854,279	41,291,640

【人材派遣】

区分 月別	契約数 (件)	就業人員		支払賃金 (円)	契約金額 (円)
		実人員 (人)	延人員 (人)		
4	36	102	1,238	5,525,476	6,977,629
5	36	106	1,318	5,965,973	7,488,557
6	35	103	1,330	5,903,063	7,480,182
7	34	104	1,304	5,792,014	7,286,007
8	35	102	1,248	5,536,785	6,970,374
9	34	101	1,285	5,652,865	7,040,996
10	35	102	1,286	5,810,109	7,248,414
11	35	102	1,304	5,936,866	7,390,083
12	35	104	1,317	6,002,476	7,581,491
1	35	103	1,258	5,808,818	7,184,626
2	37	105	1,285	5,913,898	7,377,193
3	38	112	1,360	6,295,035	7,955,126
合計			15,533	70,143,378	87,980,678

(2) 職群別契約金額及び就業人員

職群別 \ 区 分	契 約 金 額 (円)	延 人 員 (人)
1. 技 術 群	0	0
2. 技 能 群	102,528,305	14,712
3. 事 務 整 理 群	1,737,538	733
4. 管 理 群	59,640,184	14,671
5. 折 衝 外 交 群	10,575,100	2,425
6. 一 般 作 業 群	306,385,552	66,484
7. サ ー ビ ス 群	14,632,988	6,137
合 計	495,499,667	105,162

就業実人員（令和5年4月1日から令和6年3月31日までの間に1日でも就業した者）

男 765人（78.3%）

計 1,106人（78.4%）

女 341人（78.6%）

注（ ）内の%は会員数に対する比率

VI 行事及び会議開催

月 日	行 事	場 所
4月5日(水)	新入会員入会説明会	センター会議室、真備支所
7日(金)	新入会員入会説明会	船穂連絡所、 児島市民交流センター
12日(水)	新入会員入会登録会	センター会議室、真備支所
14日(金)	新入会員入会登録会	船穂連絡所、 児島市民交流センター
27日(木)	新規採用等職員研修会	おかやま西川原プラザ
5月8日(月)	第1回理事会	センター会議室
10日(水)	新入会員入会説明会	センター会議室、真備支所
12日(金)	新入会員入会説明会	玉島市民交流センター
15日(月)～19日(金)	第1回剪定会員養成講座(前期)	倉敷運動公園、野崎の記念碑
17日(水)	新入会員入会登録会	センター会議室、真備支所
18日(木)	安全パトロール(連合会)	倉敷市営中央公園墓地
19日(金)	新入会員入会登録会	玉島市民交流センター
22日(月)	第1回広報・宣伝委員会	センター会議室
22日(月)～26日(金)	第1回剪定会員養成講座(後期)	野崎の記念碑
29日(月)	第2回広報・宣伝委員会	センター会議室
6月2日(金)	設立40周年記念式典及び令和5年度定時総会	倉敷市芸文館
6月7日(水)	新入会員入会説明会	センター会議室、真備支所
	第1回事務局長会議(連合会)	おかやま西川原プラザ
9日(金)	新入会員入会説明会	船穂連絡所 水島愛あいサロン
14日(水)	新入会員入会登録会	センター会議室、真備支所
16日(金)	新入会員入会登録会	船穂連絡所 水島愛あいサロン
21日(水)	令和5年度定時総会(連合会)	ピュアリティまきび
	理事長会議(連合会)	ピュアリティまきび
29日(木)	第2回理事会	センター会議室
	第1回女性対策委員会	センター会議室
7月5日(水)	新入会員入会説明会	センター会議室、真備支所
7日(金)	新入会員入会説明会	児島市民交流センター
	第1回安全・適正就業委員会委員、推進員合同会議(連合会)	おかやま西川原プラザ
11日(火)	西備広域ブロックシルバー人材センター連絡協議会	笠岡市シルバー人材センター
12日(水)	新入会員入会登録会	センター会議室、真備支所
14日(金)	新入会員入会登録会	児島市民交流センター
	地域づくりネットワーク会議	ライフパーク倉敷
26日(水)	西備広域シルバー人材センター連絡協議会業務担当等職員研修会	サンロード吉備路
27日(木)	第1回安全・適正就業委員会委員、安全対策推進員合同会議	センター会議室

月 日	行 事	場 所
8月9日(水)	新入会員入会説明会	センター会議室、真備支所
16日(水)	新入会員入会登録会	センター会議室、真備支所
	第1回リフレッシュ講習(安全運転適性検査)	倉敷自動車教習所
22日(火)	NRIユーザー研修会(オンライン)	本部
24日(木)	第3回理事会	センター会議室
25日(金)	第1回接遇・マナー講座	センター会議室
9月1日(金)	調理講習会	くらしき健康福祉プラザ
5日(火)	会員確保に関する第1回調査・検討委員会(連合会)	おかやま西川原プラザ
6日(水)	新入会員入会説明会	センター会議室、真備支所
8日(金)	新入会員入会説明会	玉島市民交流センター
12日(火)	第2回リフレッシュ講習(安全運転適性検査)	倉敷自動車教習所
13日(水)	新入会員入会登録会	センター会議室、真備支所
14日(木)	第1回未就業会員フォローアップ説明会	センター会議室
15日(金)	新入会員入会登録会	玉島市民交流センター
19日(火)～20日(水)	第1回生活支援訪問サービス従事者研修	センター会議室
22日(金)	第2回接遇マナー講座	センター会議室
25日(月)	第2回安全適正就業委員会	センター会議室
26日(火)	ごみの分別方法の講習	センター会議室
27日(水)	第1回アンガーマネジメント講座	センター会議室
28日(木)	ごみの分別方法の講習	センター会議室
10月2日(月)～6日(金)	第2回剪定会員養成講座(前期)	倉敷市保健医療センター、真如庵
3日(火)	会員確保に関する第2回調査・検討委員会(連合会)	おかやま西川原プラザ
5日(木)	公正採用選考人権啓発推進員研修会	倉敷市芸文館
6日(金)	安全運転管理者等法定講習	イオンモール岡山
11日(水)	新入会員入会説明会	センター会議室、真備支所
13日(金)	新入会員入会説明会	船穂連絡所 水島愛あいサロン
	第1回朗読講座	センター会議室
	西備広域ブロックシルバー人材センター連絡協議会	井原ゴルフ倶楽部
15日(日)	いきいきふれあいフェスティバル	水島緑地福田公園
18日(水)	新入会員入会登録会	センター会議室、真備支所
	第2回事務局長会議(連合会)	おかやま西川原プラザ
19日(木)	第3回リフレッシュ講習(安全運転適性検査)	倉敷自動車教習所
	シニアのための就職相談会	倉敷市芸文館アイシアター
	西備広域シルバー人材センター連絡協議会会計・経理事務担当者勉強会	笠岡市シルバー人材センター

月 日	行 事	場 所
10月20日(金)	新入会員入会登録会	船穂連絡所 水島愛あいサロン
24日(火)～25日(水)	中国ブロック役職員研修会	米子コンベンションセンター
26日(木)	第4回理事会	センター会議室
27日(金)	健康講座	センター会議室
	SNS活用研修(倉敷市)	倉敷市役所
30日(月)～31日(火)	保育サポーター養成研修	センター会議室
11月1日(水)	第2回未就業会員フォローアップ説明会	センター会議室
1日(水)～2日(木)	会員確保に関する調査・検討委員会の先進地視察	鹿児島市シルバー人材センター 八代市シルバー人材センター
3日(金)	JFE西日本フェスタinくらしき	JFEスチール西日本製鉄所
5日(日)	児島湖流域清掃大作戦	倉敷市内
8日(水)	新入会員入会説明会	センター会議室、真備支所
	第2回理事会(連合会)	おかやま西川原プラザ
10日(金)	新入会員入会説明会	児島市民交流センター
13日(月)～17日(金)	第2回剪定会員養成講座(後期)	真備大池公園
15日(水)	新入会員入会登録会	センター会議室、真備支所
17日(金)	新入会員入会登録会	児島市民交流センター
21日(火)	第1回交通安全講習会	センター会議室
22日(水)	上手な大掃除の仕方講座	センター会議室
24日(金)	第2回朗読講座	センター会議室
28日(火)	第3回広報・宣伝委員会	センター会議室
29日(水)～30日(木)	第2回生活支援訪問サービス従事者研修	センター会議室
30日(木)	シナリオ・プランニング入門研修	倉敷市役所
12月1日(金)	第2回交通安全講習会	センター会議室
4日(月)	ミスゼロの仕事術研修	倉敷市役所
6日(水)	新入会員入会説明会	センター会議室、真備支所
7日(木)	第2回安全・適正就業委員会委員、推進員合同会議(連合会)	ピュアリティまきび
8日(金)	新入会員入会説明会	玉島市民交流センター
12日(火)	スマートフォン講座(速習編)	センター会議室
	調理講習会	船穂公民館
13日(水)	新入会員入会登録会	センター会議室、真備支所
15日(金)	新入会員入会登録会	玉島市民交流センター
18日(月)	第1回開拓委員会	センター会議室
21日(木)	第5回理事会	センター会議室
22日(金)	第3回接遇・マナー講座	センター会議室

月 日	行 事	場 所
12月25日(月)	職員採用試験委員会	センター会議室
1月14日(日)	職員採用試験二次試験	センター会議室
15日(月)	第1回認知症予防講座(笑いヨガ)	センター会議室
	債権処理適正化委員会	センター会議室
16日(火)	悪徳商法撃退法講座	センター会議室
	新入会員入会説明会	ハローワーク倉敷中央
18日(木)	会員確保に関する第3回調査・検討委員会(連合会)	おかやま西川原プラザ
19日(金)	職員採用試験委員会	センター会議室
22日(月)	第1回スマートフォン講座(入門・基礎編)	センター会議室
	会計・経理担当者研修会(連合会)	おかやま西川原プラザ
23日(火)	新入会員入会登録会	センター会議室
25日(木)	第1回スマートフォン講座(応用・活用編)	センター会議室
30日(火)	相続～基本編	センター会議室
2月1日(木)	第2回認知症予防講座(笑いヨガ)	センター会議室
2日(金)	第3回事務局長会議(連合会)	おかやま西川原プラザ
4日(日)	職員採用試験最終試験	センター会議室
5日(月)	職員採用試験委員会	センター会議室
7日(水)	第2回スマートフォン講座(入門・基礎編)	センター会議室
	契約方法の見直しに係る会計・税務処理上の コンサルティング(連合会)	おかやま西川原プラザ
9日(金)	第2回スマートフォン講座(応用・活用編)	センター会議室
	福祉・家事援助サービス事業担当者等研修会(連合会)	おかやま西川原プラザ
13日(火)	第3回スマートフォン講座(入門・基礎編)	真備支所
	公正採用選考人権啓発経営者研修会	岡山芸術創造劇場ハレノワ
14日(水)	第3回スマートフォン講座(応用・活用編)	真備支所
16日(金)	第1回、第2回草刈講習会	高梁川河川敷
19日(月)～20日(火)	第3回生活支援訪問サービス従事者研修	センター会議室
21日(水)	男の料理教室	健康福祉プラザ
	シニアのためのデジタル講座「簡単!楽しい!eスポーツ」	おかやま西川原プラザ
27日(火)	第3回、第4回草刈講習会	高梁川河川敷
28日(水)	西備広域ブロックシルバー人材センター連絡協議会	仁科会館
28日(水)～3月1日(金)	初心者剪定講習会	黒崎中学校
3月4日(月)	第4回スマートフォン講座(入門・基礎編)	センター会議室
6日(水)	新入会員入会説明会	センター会議室、真備支所
7日(木)	第4回スマートフォン講座(応用・活用編)	センター会議室

月 日	行 事	場 所
3月8日(金)	新入会員入会説明会	水島愛あいサロン
3月11日(月)	新入会員入会説明会	ハローワーク倉敷中央
12日(火)	第5回スマートフォン講座(入門・基礎編)	船穂連絡所
13日(水)	新入会員入会登録会	センター会議室、真備支所
	第5回スマートフォン講座(応用・活用編)	船穂連絡所
15日(金)	新入会員入会登録会	水島愛あいサロン
	第3回理事会(連合会)	おかやま西川原プラザ
18日(月)	新入会員入会登録会	センター会議室
22日(金)	第4回接遇・マナー講座	センター会議室
	第4回事務局長会議(連合会)	おかやま西川原プラザ
26日(火)	第6回理事会	センター会議室
27日(水)	第2回アンガーマネジメント講座	センター会議室
28日(木)~29日(金)	介護送迎運転者講習	センター会議室
29日(金)	新入会員入会説明会	ハローワーク児島

第3号報告

公益社団法人倉敷市シルバー人材センター 会員就業規約の改正について

公益社団法人倉敷市シルバー人材センター会員就業規約を別紙のように改正することについて、令和6年3月26日開催の理事会において承認されたことを報告します。

令和6年6月6日提出

公益社団法人倉敷市シルバー人材センター
理事長 内海 彰也

別紙

公益社団法人倉敷市シルバー人材センター会員就業規約の一部を改正する規約
公益社団法人倉敷市シルバー人材センター会員就業規約の一部を次のように改正する。
第9条第2項中「自動車」の次に「(第2項に規定する自動車を除く。)」を加え、同項を同条第4項とし、同条第1項の次に次の2項を加える。

- 2 会員が公用車を運転中、事故を起こし、発生した損害賠償については、「自動車損害賠償責任保険」及び「任意自動車保険」の定めるところにより、賠償を担保されるものとする。
- 3 会員が前項に規定する事故を起こし保険金によって賠償がなされたときは、事故の態様に鑑み、センターが決めた金額を、負担金として1事故20,000円を上限に、センターに納めさせることができる。

附 則

この規約は、令和6年5月1日から施行する。

【提案理由】

公用車を運転中の事故について、会員の自己負担分を規定するため、規約を改正するものである

【新旧対照表】

(下線部が改正箇所)

改正後	改正前
<p>(損害補償)</p> <p>第9条 会員が就業中、発注者又は第三者の身体又は財物に損害を与えたときは、「シルバー人材センター全国団体賠償責任保険制度」約款の定めるところにより、賠償を担保されるものとする。</p> <p>ただし、免責分に係る金額(1事故20,000円)は会員の負担とさせることができる。</p> <p><u>2 会員が公用車を運転中、事故を起こし、発生した損害賠償については、「自動車損害賠償責任保険」及び「任意自動車保険」の定めるところにより、賠償を担保されるものとする。</u></p> <p><u>3 会員が前項に規定する事故を起こし保険金によって賠償がなされたときは、事故の態様に鑑み、センターが決めた金額を、負担金</u></p>	<p>(損害補償)</p> <p>第9条 会員が就業中、発注者又は第三者の身体又は財物に損害を与えたときは、「シルバー人材センター全国団体賠償責任保険制度」約款の定めるところにより、賠償を担保されるものとする。</p> <p>ただし、免責分に係る金額(1事故20,000円)は会員の負担とさせることができる。</p>

<p><u>として1事故20,000円を上限に、センターに納めさせることができる。</u></p> <p><u>4</u> 会員の故意若しくは重大な過失による、又は自動車<u>(第2項に規定する自動車を除く。)</u>の所有、使用、管理に起因する賠償責任が発生したとき等「シルバー人材センター全国団体賠償責任保険制度」で担保できない賠償は、会員が負うものとする。</p>	<p><u>2</u> 会員の故意若しくは重大な過失による、又は自動車の所有、使用、管理に起因する賠償責任が発生したとき等「シルバー人材センター全国団体賠償責任保険制度」で担保できない賠償は、会員が負うものとする。</p>
---	---

第1号議案

令和5年度決算について

令和5年度公益社団法人倉敷市シルバー人材センター決算について、定款第39条第2項の規定により承認を求めます。

令和6年6月6日提出

公益社団法人倉敷市シルバー人材センター
理事長 内海 彰也

貸借対照表

令和 6年 3月31日現在

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	0	0	0
普通預金	49,201,271	41,863,059	7,338,212
未収金	45,680,752	37,355,158	8,325,594
仮払金	0	0	0
立替金	0	0	0
前払金	320,050	353,050	△ 33,000
流動資産合計	95,202,073	79,571,267	15,630,806
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	36,833,282	33,615,768	3,217,514
減価償却引当資産	13,500,000	42,452,148	△ 28,952,148
財政運営資金積立資産	31,000,000	15,755,000	15,245,000
建物設備修繕積立資産	4,000,000	0	4,000,000
特定資産合計	85,333,282	91,822,916	△ 6,489,634
(3) その他固定資産			
建物	3	3	0
構築物	1,370,368	1,554,928	△ 184,560
車輛運搬具	1	3,530,214	△ 3,530,213
什器備品	456,069	731,698	△ 275,629
電話加入権	180,000	180,000	0
保証金	0	0	0
預託金	7,170	204,970	△ 197,800
その他固定資産合計	2,013,611	6,201,813	△ 4,188,202
固定資産合計	87,346,893	98,024,729	△ 10,677,836
資産合計	182,548,966	177,595,996	4,952,970
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	41,473,195	36,733,711	4,739,484
前受金	154,910	182,023	△ 27,113
預り金	1,456,831	1,375,826	81,005
仮受金	0	0	0
短期借入金	0	0	0
流動負債合計	43,084,936	38,291,560	4,793,376
2. 固定負債			
退職給付引当金	36,833,282	33,615,768	3,217,514
固定負債合計	36,833,282	33,615,768	3,217,514
負債合計	79,918,218	71,907,328	8,010,890
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	102,630,748	105,688,668	△ 3,057,920
(うち特定資産への充当額)	(85,333,282)	(91,822,916)	(△ 6,489,634)
正味財産合計	102,630,748	105,688,668	△ 3,057,920
負債及び正味財産合計	182,548,966	177,595,996	4,952,970

正味財産増減計算書

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受託事業収益	495,499,667	478,509,900	16,989,767
受取配分金	396,426,705	389,838,859	6,587,846
受取材料費等	52,821,619	50,692,527	2,129,092
受取事務費	46,251,343	37,978,514	8,272,829
労働者派遣事業等受託収益	8,162,219	8,174,004	△ 11,785
労働者派遣事業等受託収益	8,162,219	8,174,004	△ 11,785
受取会費	3,410,400	3,446,400	△ 36,000
正会員受取会費	3,410,400	3,446,400	△ 36,000
受取補助金等	66,910,690	61,746,000	5,164,690
受取連合交付金	23,529,000	23,329,000	200,000
受取(市)補助金	43,381,690	38,417,000	4,964,690
受取寄附金	0	0	0
受取寄附金	0	0	0
特定資産運用益	1,840	1,694	146
特定資産受取利息	1,840	1,694	146
雑収益	567,822	334,769	233,053
受取利息	0	0	0
雑収益	567,822	334,769	233,053
経常収益計	574,552,638	552,212,767	22,339,871
(2) 経常費用			
事業費	567,366,863	543,670,090	23,696,773
支払配分金	396,426,705	389,838,859	6,587,846
支払材料費等	49,850,206	47,101,072	2,749,134
役員報酬	1,832,880	1,911,840	△ 78,960
給料手当	29,288,611	25,013,007	4,275,604
臨時雇賃金	8,773,980	2,061,229	6,712,751
法定福利費	7,876,263	6,824,715	1,051,548
退職給付費用	4,174,014	6,232,422	△ 2,058,408
福利厚生費	315,018	217,559	97,459
会議費	75,717	42,278	33,439
旅費交通費	280,271	286,072	△ 5,801
通信運搬費	3,592,798	2,437,443	1,155,355
減価償却費	460,191	1,591,000	△ 1,130,809
什器備品費	106,942	1,049,070	△ 942,128
消耗品費	4,591,218	2,981,496	1,609,722
修繕費	33,660	1,624,281	△ 1,590,621
印刷製本費	968,770	1,420,220	△ 451,450
光熱水料費	1,842,550	1,778,564	63,986
賃借料	6,114,674	4,921,079	1,193,595
保険料	4,981,420	5,191,935	△ 210,515
諸謝金	22,184,463	26,066,383	△ 3,881,920
租税公課	6,116,700	1,738,100	4,378,600
支払負担金	137,000	88,483	48,517
組織活動助成費	0	0	0
委託費	14,991,656	11,754,337	3,237,319
教材費	56,909	0	56,909
作業適応訓練費	124,300	115,500	8,800
支払手数料	939,774	888,504	51,270
貸倒損失	0	0	0
雑費	1,230,173	494,642	735,531

正味財産増減計算書

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
管理費	10,806,708	10,582,922	223,786
役員報酬	2,749,320	2,867,760	△ 118,440
給料手当	2,335,000	2,431,416	△ 96,416
法定福利費	647,882	921,778	△ 273,896
退職給付費用	221,780	294,570	△ 72,790
福利厚生費	7,955	10,988	△ 3,033
会議費	36,032	40,697	△ 4,665
役員等旅費交通費	326,120	319,740	6,380
旅費交通費	0	0	0
通信運搬費	658,335	986,650	△ 328,315
消耗品費	184,745	56,130	128,615
修繕費	0	0	0
印刷製本費	641,465	690,827	△ 49,362
光熱水料費	15,580	107,403	△ 91,823
賃借料	724,355	544,503	179,852
保険料	151,000	126,900	24,100
租税公課	29,000	29,000	0
支払負担金	320,000	320,000	0
委託費	780,775	701,158	79,617
支払手数料	0	0	0
雑費	977,364	133,402	843,962
経常費用計	578,173,571	554,253,012	23,920,559
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 3,620,933	△ 2,040,245	△ 1,580,688
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 3,620,933	△ 2,040,245	△ 1,580,688
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	563,013	0	563,013
車両運搬具売却益	563,013	0	563,013
経常外収益計	563,013	0	563,013
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	286,849	△ 286,849
構築物除却損	0	286,849	△ 286,849
経常外費用計	0	286,849	△ 286,849
当期経常外増減額	563,013	△ 286,849	849,862
当期一般正味財産増減額	△ 3,057,920	△ 2,327,094	△ 730,826
一般正味財産期首残高	105,688,668	108,015,762	△ 2,327,094
一般正味財産期末残高	102,630,748	105,688,668	△ 3,057,920
II 指定正味財産増減の部			
(1) 収益			
収益計	0	0	0
(2) 費用			
費用計	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	102,630,748	105,688,668	△ 3,057,920

正味財産増減計算書内訳表

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日まで

科目	公益目的事業会計		その他会計	法人会計	内部取引等消去	合計
	シルバー人材センター事業	共通				
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
受託事業収益	489,738,667	0	0	5,761,000		495,499,667
受取配分金	396,426,705	0	0	0		396,426,705
受取材料費等	52,821,619	0	0	0		52,821,619
受取事務費	40,490,343	0	0	5,761,000		46,251,343
労働者派遣事業等受託収益	8,162,219	0	0	0		8,162,219
受取会費	8,162,219	0	0	0		8,162,219
正会員受取会費	0	1,705,200	0	1,705,200		3,410,400
受取補助金等	63,497,690	1,705,200	0	1,705,200		66,910,690
受取連合交付金	23,529,000	0	0	3,413,000		23,529,000
受取(市)補助金	39,968,690	0	0	3,413,000		43,381,690
受取寄附金	0	0	0	0		0
受取寄附金	0	0	0	0		0
特定資産運用利益	1,840	1,840	0	0		1,840
雑収益	1,840	1,840	0	0		1,840
受取利息	567,822	0	0	0		567,822
雑収益	567,822	0	0	0		567,822
経常収益計	561,398,576	2,274,862	0	10,879,200		574,552,638
(2) 経常費用						
事業費	567,366,863	0	0	0		567,366,863
支払配分金	396,426,705	0	0	0		396,426,705
支払材料費等	49,850,206	0	0	0		49,850,206
役員報酬	1,832,880	0	0	0		1,832,880
給料手当	29,288,611	0	0	0		29,288,611
臨時雇賃金	8,773,980	0	0	0		8,773,980
法定福利費	7,876,263	0	0	0		7,876,263
退職給付費用	4,174,014	0	0	0		4,174,014
福利厚生費	315,018	0	0	0		315,018
会議費	75,717	0	0	0		75,717
旅費交通費	280,271	0	0	0		280,271
通信運搬費	3,592,798	0	0	0		3,592,798
減価償却費	460,191	0	0	0		460,191
什器備品費	106,942	0	0	0		106,942
消耗品費	4,591,218	0	0	0		4,591,218
修繕費	33,660	0	0	0		33,660
印刷製本費	968,770	0	0	0		968,770
光熱水料費	1,842,550	0	0	0		1,842,550
賃借料	6,114,674	0	0	0		6,114,674
保険料	4,981,420	0	0	0		4,981,420
諸謝金	22,184,463	0	0	0		22,184,463
租税公課	6,116,700	0	0	0		6,116,700
支払負担金	137,000	0	0	0		137,000
組織活動助成費	0	0	0	0		0
委託費	14,991,656	0	0	0		14,991,656
教材費	56,909	0	0	0		56,909
作業適応訓練費	124,300	0	0	0		124,300
支払手数料	939,774	0	0	0		939,774
貸倒損失	0	0	0	0		0
雑費	1,230,173	0	0	0		1,230,173

正味財産増減計算書内訳表

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

科目	公益目的事業会計			その他会計	法人会計	内部取引等消去	合計
	シルバークリニクスセンター事業	共通	小計				
管理費	0	0	0	0	0	0	0
役員報酬	0	0	0	0	10,806,708	0	10,806,708
給料手当	0	0	0	0	2,749,320	0	2,749,320
法定福利費	0	0	0	0	2,335,000	0	2,335,000
退職給付費用	0	0	0	0	647,882	0	647,882
福利厚生費	0	0	0	0	221,780	0	221,780
会議費	0	0	0	0	7,955	0	7,955
役員等旅費交通費	0	0	0	0	36,032	0	36,032
旅費交通費	0	0	0	0	326,120	0	326,120
通信運搬費	0	0	0	0	658,335	0	658,335
消耗品費	0	0	0	0	184,745	0	184,745
修繕費	0	0	0	0	0	0	0
印刷製本費	0	0	0	0	641,465	0	641,465
光熱水料費	0	0	0	0	15,580	0	15,580
賃借料	0	0	0	0	724,355	0	724,355
保険料	0	0	0	0	151,000	0	151,000
租税公課	0	0	0	0	29,000	0	29,000
支払負担金	0	0	0	0	320,000	0	320,000
委託費	0	0	0	0	780,775	0	780,775
支払手数料	0	0	0	0	0	0	0
雑費	0	0	0	0	977,364	0	977,364
経費用計	567,366,863	0	567,366,863	0	10,806,708	0	578,173,571
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 5,968,287	2,274,862	△ 3,693,425	0	72,492	0	△ 3,620,933
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 5,968,287	2,274,862	△ 3,693,425	0	72,492	0	△ 3,620,933
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
固定資産売却益	563,013	0	563,013	0	0	0	563,013
車両運搬具売却益	563,013	0	563,013	0	0	0	563,013
経常外収益計	563,013	0	563,013	0	0	0	563,013
(2) 経常外費用							
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	563,013	0	563,013	0	0	0	563,013
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 5,405,274	2,274,862	△ 3,130,412	0	72,492	0	△ 3,057,920
他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 5,405,274	2,274,862	△ 3,130,412	0	72,492	0	△ 3,057,920
一般正味財産期首残高			105,688,668	0	0	0	105,688,668
一般正味財産期末残高			102,558,256	0	72,492	0	102,630,748
II 指定正味財産増減の部							
(1) 収益							
収益計	0	0	0	0	0	0	0
(2) 費用							
費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高			0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高			0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高			102,558,256	0	72,492	0	102,630,748

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方法

(1) 固定資産の減価償却の方法

減価償却資産について、定額法により直接減価償却を実施している。

(2) 引当金の計上方法

退職給付引当金は、期末退職給付の要支給額に相当する金額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税の会計処理は税込方式によっている。

2. 会計方針

財務諸表は、平成20年4月11日内閣府公益認定委員会制定の「公益法人会計基準」及び「公益法人会計基準の運用指針」に準拠して作成している。

3. 基本財産及び特定資産の増減及びその残高

基本財産及び特定資産の増減及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期残高	当期増加額	当期減少額	当期残高
基本財産				
小 計	0	0	0	0
特定資産				
建物設備修繕積立資産	0	4,000,000	0	4,000,000
退職給付引当資産	33,615,768	3,217,514	0	36,833,282
減価償却引当資産	42,452,148	0	28,952,148	13,500,000
財政運営資金積立資産	15,755,000	15,245,000	0	31,000,000
小 計	91,822,916	22,462,514	28,952,148	85,333,282
合 計	91,822,916	22,462,514	28,952,148	85,333,282

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの充 当額)	(うち一般正味 財産からの充 当額)	(うち負債に対 応する額)
基本財産				
小 計	0	0	0	0
特定資産				
建物設備修繕積立資産	4,000,000	(0)	(4,000,000)	(0)
退職給付引当資産	36,833,282	(0)	(36,833,282)	(36,833,282)
減価償却引当資産	13,500,000	(0)	(13,500,000)	(0)
財政運営資産積立資産	31,000,000	(0)	(31,000,000)	(0)
小 計	85,333,282	(0)	(85,333,282)	(36,833,282)
合 計	85,333,282	(0)	(85,333,282)	(36,833,282)

5. 固定資産の取得価格、減価償却累計及び当期末残高

固定資産の取得価格、減価償却累計及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
建 物	3,656,500	3,656,497	3
構 築 物	3,722,425	2,352,057	1,370,368
車 両 運 搬 具	2,777,800	2,777,799	1
什 器 備 品	5,233,726	4,777,657	456,069
合 計	15,390,451	13,564,010	1,826,441

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増加額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増加額及び残高は、次のとおりである。

補助金の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
運営補助金	連合会	0	23,529,000	23,529,000	0	—
運営補助金	倉敷市	0	43,381,690	43,381,690	0	—
合 計		0	66,910,690	66,910,690	0	—

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記3で記載しているため省略する。

財産目録

令和6年3月31現在

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)	現金	現金手元有高		0	
	預貯金	中国銀行倉敷市役所出張所	運転資金として	49,201,271	
	未収金	事業収入等	シルバール材センター事業の受託収益	45,680,752	
	前払金	傷害・賠償保険、会場借上料	会員傷害・賠償保険料、総会会場借上料	320,050	
流動資産合計					
(固定資産)	退職給付引当資産	定期預金	中国銀行倉敷市役所出張所	退職者に伴う退職費用として管理されている預金	36,833,282
	減価償却引当資産	定期預金	中国銀行倉敷市役所出張所	固定資産買替え資金として管理されている預金	13,500,000
	財政運営資金積立資産	定期預金	中国銀行倉敷市役所出張所	事業拡大等に伴う財政運営資金として管理されている預金	31,000,000
	建物設備修繕積立資産	定期預金	中国銀行倉敷市役所出張所	建物設備の修繕資金として管理されている預金	4,000,000
	建物	プレハブ作業所	書庫	うち公益目的として使用する財産63%、管理目的として使用する財産37%	3
		構築物	案内標識板2カ所	うち公益目的として使用する財産58%、管理目的として使用する財産42%	257,033
	構築物	カーポート、シャッター		公益目的保有財産でありシルバール材センター事業に使用している	996,583
		目隠しフェンス		公益目的保有財産でありシルバール材センター事業に使用している	116,752
	車両運搬具	2tダンプ	1台	公益目的保有財産でありシルバール材センター事業に使用している	1
		管理機	1台、芝刈機	2台	公益目的保有財産でありシルバール材センター事業に使用している
	什器備品	冷暖房機		うち公益目的として使用する財産84%、管理目的として使用する財産16%	2
		テレビ	2台、物置	公益目的保有財産でありシルバール材センター事業に使用している	3
	電話加入権	応接セット		公益目的保有財産でありシルバール材センター事業に使用している	4
		発電機	3台、動力噴霧機	3台	公益目的保有財産でありシルバール材センター事業に使用している
預託金	プロジェクトター、PJ用スクリーン		公益目的保有財産でありシルバール材センター事業に使用している	2	
	パソコン、マイクプロフォン		公益目的保有財産でありシルバール材センター事業に使用している	160,579	
	自動車リサイクル料金		うち公益目的保有財産80%で管理目的として使用する財産20%	180,000	
			うち公益目的保有財産96%で管理目的として使用する財産4%	7,170	
固定資産合計					
87,346,893					
資産合計					
182,548,966					
(流動負債)	未払金	支払配分金等	シルバール材センター事業に供する配分金、材料費の未払い金等	41,473,195	
	前受金	事業請負金	シルバール材センター事業に供する前受金	154,910	
	預り金	社会保険料等	職員からの預り社会保険料、源泉所得税預り金	1,456,831	
流動負債合計					
43,084,936					
(固定負債)	退職給付引当金	定期預金	中国銀行倉敷市役所出張所	職員退職金支給額	36,833,282
固定負債合計					
36,833,282					
負債合計					
79,918,218					
正味財産					
102,630,748					

第2号議案

役員を選任について

理事及び監事の任期満了により、公益社団法人倉敷市シルバー人材センター定款第22条第1項の規定に基づき、本総会において役員を選任を求めます。

令和6年6月6日提出

公益社団法人倉敷市シルバー人材センター
理事長 内海 彰也

公益社団法人倉敷市シルバー人材センター役員候補者名簿
(任期 令和6年6月6日～令和8年6月定時総会)

役 職	氏 名	住 所	備 考
理 事	内海 彰也	倉敷市児島下の町	再 任
理 事	岡崎 武	倉敷市大島	再 任
理 事	生水 哲男	倉敷市笹沖	再 任
理 事	浅野 美智子	倉敷市玉島柏島	再 任
理 事	片岡 敦代	倉敷市船穂町船穂	再 任
理 事	武南 敏子	倉敷市真備町川辺	再 任
理 事	戸屋 清豪	倉敷市中島	再 任
理 事	菱川 教男	倉敷市福江	再 任
理 事	坂田 良子	倉敷市藤戸町藤戸	再 任
理 事	田中 富美子	倉敷市中庄	再 任
理 事	安原 好夫	倉敷市水島相生町	再 任
理 事	横田 京子	倉敷市水島西栄町	再 任
理 事	小森 敏治	倉敷市白楽町	再 任
理 事	臼木 孝幸	倉敷市児島下の町	再 任
理 事	中尾 繁	倉敷市新倉敷駅前	新 任
理 事	馬淵 元志	倉敷市茶屋町	新 任
理 事	山根 雅人	倉敷市鳥羽	新 任
理 事	安川 晴三	倉敷市真備町川辺	新 任
監 事	中濱 崇	倉敷市真備町箭田	再 任
監 事	伊田 慶二	倉敷市福井	新 任

【参考資料】 新任役員候補者名簿

役 職	氏 名	住 所	会 員 号 会 番	入 会 日	備 考
理 事	中尾 繁	倉敷市 新倉敷駅前	4 4 9 4 5	H29. 7. 19	<ul style="list-style-type: none"> ・草刈班班長 ・墓地清掃 ・安全適正就業委員会委員
理 事	馬淵 元志	倉敷市 茶屋町	5 0 5 9	H28. 11. 16	<ul style="list-style-type: none"> ・チラシ配布 ・公園清掃 ・広報宣伝委員会委員
理 事	山根 雅人	倉敷市 鳥羽	5 4 0 3	R2. 9. 30	<ul style="list-style-type: none"> ・植木剪定班班長 ・墓地清掃
理 事	安川 晴三	倉敷市 真備町川辺	5 5 9 6 0	R2. 11. 30	<ul style="list-style-type: none"> ・元倉敷市シルバー人材センター真備支所所長
監 事	伊田 慶二	倉敷市 福井			<ul style="list-style-type: none"> ・税理士事務所

第3号議案

理事長に対する権限委任について

本総会における議決のうち、次に該当する字句修正の権限を理事長に委任することについて、承認を求めます。

- 1 内容に変更をきたさない軽微な事項の修正又は違算若しくは誤字の修正
- 2 法令に基づく処分又は行政庁の指示による修正

令和6年6月6日提出

公益社団法人倉敷市シルバー人材センター
理事長 内海 彰也

資 料

令和６年度事業計画

I 基本方針

我が国は、少子高齢化の進行に伴い、高齢化率が令和４年に２９．０％に達し、令和５２年には、約２．６人に１人が６５歳以上、約４人に１人が７５歳以上になると推計されています。また、高年齢者の就業率は、平成２４年と比較すると令和４年では、６０歳から６４歳で１５．３ポイント、６５歳から６９歳で１３．７ポイント、７０歳から７４歳で１０．５ポイント伸びています。

このように超高齢化社会となり、高年齢者の就業意欲が旺盛な状況において、令和３年４月から施行された７０歳までの就業確保を事業主の努力義務とする「改正高年齢者雇用安定法」を踏まえ、高年齢者の就業促進施策が推進されていくこと、また、令和５年４月に成立した「特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律（いわゆるフリーランス新法）」が本年度秋ごろ施行され、会員がフリーランスと位置付けられることに伴い、現行の契約を新たな契約方法に大きく変更する必要があることなど、シルバー人材センターを取り巻く環境は一層厳しくなっています。

当センターとしましては、こうした諸情勢を踏まえたうえで、地域のニーズを的確に把握し、多様な就業機会の確保と拡大に一層積極的に取り組むとともに、高年齢者の社会参加や地域の活性化に貢献するシルバー人材センター事業に対する地域社会の理解を深めるなど、会員になりたいと思えるような組織づくりに努め、会員の増強に繋げてまいります。

そして、「自主・自立、共働・共助」の基本理念のもと、会員一人ひとりが「輝くシルバー（生きいき高年齢者）」となり、「豊かな人材（豊富な知識・経験）」をより多くの市民の皆様にご利用していただくために、シルバー人材センターが「活力あるセンター（にぎやかに集う所）」として広く認知され、地域から信頼される存在で有り続けることを目指します。

今後とも、倉敷市をはじめ関係機関、民間事業所及び市民の皆様の御理解と御支援をいただきながら、地域社会の期待に応えることのできるシルバー人材センターとして、さらなる充実・発展を目指し、会員及び役職員が一丸となり、次の事業を推進してまいります。

II 事業実施計画

1 シルバー人材センター事業の普及啓発及び広報活動

あらゆる機会をとらえて、市民、企業・事業所及び地域社会にシルバー人材センター事業を広く周知し、事業の拡大・発展を図ります。

- (1) 市広報紙及び市の封筒裏面の活用並びに各報道機関への情報提供
- (2) 公共施設へのポスター掲示、デジタルサイネージによる画像等の配信、パンフレット等の配布、路線バスの車両広告、倉敷商工会議所会報への広告掲載、ホームページ等による普及啓発及び情報発信
- (3) ラジオ番組に毎月1回出演による情報発信
- (4) 「シルバーの日」を中心に開拓委員及び役職員によるパンフレット等の配布を行う街頭キャンペーンの実施
- (5) 地域イベントへの出店参加
- (6) 倉敷市役所（本庁、各支所）庁舎内での事業拡大キャンペーンの実施
- (7) 「手づくりの店」の運営
- (8) 地域社会への貢献の一環として、奉仕作業、地域ボランティアへの参加及び福祉施設等への慰問

2 会員の増強

退会会員の減少に努めるとともに、新規会員の加入促進を積極的に推進します。会員数は、1,589名を目指します。

- (1) 会員による新規入会への積極的な勧誘
- (2) 毎月の入会説明会及び入会登録会に加え、市内各地域での説明会の開催等柔軟な対応
- (3) ホームページにおけるオンライン入会説明会の開催
- (4) ハローワークと連携した入会説明会の開催
- (5) 倉敷市役所（本庁・支所）、図書館、公民館、憩の家、公共職業安定所等への入会説明資料等の設置
- (6) 説明会日程のホームページへの掲載
- (7) 同好会活動により会員の連携を図り退会を防止
- (8) 新規会員及び未就業会員の早期就業に向けた迅速な就業情報の提供
- (9) 「親切・丁寧・誠実」な就業及び「質の高いサービス」の提供によるシルバー人材センター事業の周知
- (10) 女性会員の入会促進のため、女性に特化した広報活動の展開
- (11) 会員が高年齢になっても、社会参加及び地域活動ができるような体制

づくりの検討

- (12) 一般市民も受講可能な講習会を開催し、会員と一般市民とのふれあいの場を提供することによる会員勧誘の推進

3 就業機会の確保及び拡大

就業機会の確保及び拡大はシルバー事業の根幹です。受注件数及び受注金額は、社会経済状況の変化に大きく左右されますが、継続契約者及びリピーターを大切にしながら、新たな発注者の開拓に最大限取り組みます。

受注件数は、年間12,567件、受注金額は、651,308千円を目指します。

- (1) 「皆で開拓、皆で就業」がシルバー事業の基本です。会員一人ひとりが就業開拓に努め、受注の拡大を図ります。そのためには、会員一人ひとりが発注者及び市民に対し、「親切・丁寧・誠実」な就業により、「質の高いサービス」を提供し、発注者の満足度の向上に努めます。
- (2) 就業機会創出員、地域班長等による企業及び家庭への訪問活動を実施します。
- (3) 役職員による企業・事業所への訪問活動及び街頭キャンペーンを実施します。
- (4) 高齢者及び一人暮らし世帯の日常生活をより臨機応変にサポートする「シルバーレンジャー隊」の活動を充実し、就業の拡大を図ります。
- (5) 発注者からの仕事を引き受けるだけでなく、会員自らが経験や地域の特性を活かして、独自の創意工夫により新たな就業の創出に努めます。
- (6) 会員の就業スキルアップを目的とした講習会の拡充を図ります。
- (7) 介護、生活支援、子育て分野等に重点を置いた研修を体系的に実施することにより、会員の知識及び技術の向上を図ります。
- (8) 就業機会の安定的な確保並びに知識や経験を生かした施設の管理及び住民サービスを提供することにより、活力ある社会づくりに寄与するため、積極的に指定管理者制度への参加を推進します。

4 安全・適正就業の推進

・安全就業

「安全はすべてに優先する。」安全就業は、シルバー事業の最優先課題であるため、常に『事故ゼロ』を目指します。

- (1) 傷害事故及び損害賠償事故を防止するため、「安全就業基準」の遵守徹底等、組織をあげて取り組むとともに、「安全ニュース」等を通じ、就業

中の事故だけでなく、就業途上における交通事故防止及び健康管理に会員の意識高揚を図ります。

- (2) 安全・適正就業委員等による就業現場の安全パトロール、各種安全講習会等の実施により、会員の安全対策に努めます。
- (3) 万一、事故を起こした会員に対しては、「事故取扱基準」に基づき、イエローカードの発行、就業停止等の措置を講じることにより事故の再発防止に努めます。

・適正就業

- (1) 法令遵守の徹底による適正就業を図るとともに、請負又は委任での受注ができない場合は、労働者派遣事業又は有料職業紹介事業で取り扱います。
- (2) 会員に公平・適切な就業機会の提供を実施するよう、「就業の基準に関する要綱」に基づいて、ローテーション就業の促進、長期就業の解消等のワークシェアリングを推進します。

5 労働者派遣事業（シルバー派遣事業）の促進

会員の多様な働き方の選択肢及び就業機会を拡大するため、「請負・委任」では出来ない、発注者である企業等の指揮命令による就業又は社員との混在就業も可能な派遣事業をさらに促進します。また、労働者派遣法に規定する「同一労働同一賃金」に係る手続きを遵守します。

6 育児支援及び高齢者等の生活介護支援事業の実施

育児支援、高齢者等日常生活サポート事業、福祉施設等への手芸等の出前講座等を実施します。

そのため、社会福祉協議会等の福祉団体と連携するとともに、子育て、介護、調理等の講習会を実施し、会員の知識、技術及び就業意欲の向上を図り、発注者が心身ともに健康な生活を送るための支援を実施します。

7 高齢者活用・現役世代雇用サポート事業の促進

少子高齢化が急速に進展する中、全国的に人手不足が社会全体の課題となっており、サービス業等の人手不足分野や介護・育児等の現役世代を支える分野での就業機会の開拓及びマッチングを図り、高齢者の活躍を推進します。

8 有料職業紹介事業の実施

企業等の要請により、「雇用による臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽

易な業務に係る就業」について、これらを希望する高齢者を対象に有料での職業紹介を実施します。

9 ボランティア活動による地域貢献

シルバー人材センター事業の目的でもある地域貢献として、会員による地域の清掃、剪定等の奉仕活動及び会員有志による施設等への慰問を実施します。

10 事業運営の強化

シルバー人材センターの基本理念である「自主・自立、共働・共助」の実現に向け、会員参加の自主運営組織としての地域班及び職域班、専門委員会並びに理事会の機能強化等、組織の活性化を図ります。

フリーランス新法施行に伴う新たな契約方法への移行、経理事務の見直し等への対応を適切に推進してまいります。

会員のスマートフォン操作などデジタル能力の向上に十分な支援を行き渡らせることが急務であり、デジタル活用支援を通じてデジタル格差の解消を図り、事務処理のデジタル化を一層推進します。

事務局職員の資質向上を図り、効果的な事業運営及び健全な財政運営に努め、適正に公益社団法人を運営してまいります。

顧問弁護士による会員向けの法律講座を実施し、リーガルマインド（法的思考力）の向上を目指し、業務上の課題を顧問弁護士に相談することによりコンプライアンスの徹底を図ります。

資料（2）

令和6年度収支予算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:千円)

科目	当年度	前年度	増減	備考
I 一般正味財産増減の部				
1.経常増減の部				
(1)経常収益				
受託事業収益	548,669	528,074	20,595	
受取配分金	445,209	407,209	38,000	配分金の収入
受取材料費等	50,035	72,000	△ 21,965	
受取事務費	53,425	48,865	4,560	配分金の12%
労働者派遣事業等収益	6,611	7,359	△ 748	
労働者派遣事業収益	6,611	7,359	△ 748	派遣事業手数料
受取会費	3,762	3,618	144	
正会員受取会費	3,762	3,618	144	2400×1546名,1200円×43名
受取補助金等	64,989	66,910	△ 1,921	
受取連合会補助金	21,830	23,529	△ 1,699	国庫補助金
受取市補助金	43,159	43,381	△ 222	市補助金
受取寄付金	1	1	0	
受取寄付金	1	1	0	
特定資産運用益	20	20	0	
特定資産受取利息	20	20	0	
雑収益	50	50	0	
受取利息	0	0	0	
雑収益	50	50	0	
経常収益計	624,102	606,032	18,070	
(2)経常費用				
事業費	644,064	610,500	33,564	
支払配分金	445,209	407,209	38,000	会員への配分金
支払材料費等	50,035	72,000	△ 21,965	材料費購入等
役員報酬	1,920	1,920	0	理事長報酬
給料手当	39,223	35,457	3,766	職員11名(内2名諸謝金と按分)
臨時雇賃金	7,745	2,355	5,390	連絡員,就業創出員
法定福利費	9,470	8,151	1,319	社会保険料等
退職給付費用	5,009	4,102	907	退職金積立
福利厚生費	239	249	△ 10	健康診断等
旅費交通費	700	700	0	役職員研修旅費等
通信運搬費	4,000	4,000	0	電話代等
減価償却費	0	0	0	
会議費	123	123	0	茶代
什器備品費	0	0	0	
消耗品費	6,400	6,500	△ 100	事務用品等
修繕費	900	900	0	機械修理等
印刷製本費	3,500	5,220	△ 1,720	封筒等
光熱水料費	1,831	2,286	△ 455	電気・ガス・水道
賃借料	13,861	5,589	8,272	事務機器借上等
保険料	6,400	6,400	0	会員傷害・賠償等
諸謝金	20,522	23,974	△ 3,452	嘱託職員,職員2名等
租税公課	11,094	6,701	4,393	自動車税、消費税
負担金	183	183	0	全シ協、連合会講習等
委託費	12,070	12,281	△ 211	事務機器保守,コンビニプリント・収納委託
教材費	730	1,200	△ 470	講習用テキスト等
作業適応訓練費	200	300	△ 100	運転適性講習
支払手数料	1,000	1,000	0	振込手数料等
貸倒損失	0	0	0	

令和6年度収支予算書

令和 6年 4月 1日から令和 7年 3月31日まで

(単位:千円)

科目	当年度	前年度	増減	備考
支払委託金等返還	0	0	0	
支払利息	0	0	0	
雑費	1,700	1,700	0	
管理費	10,929	11,083	△ 154	
役員報酬	2,880	2,880	0	理事長報酬法人割
給料手当	3,234	2,335	899	
法定福利費	652	695	△ 43	
退職給付費用	229	216	13	
福利厚生費	30	30	0	
会議費	50	50	0	理事会
旅費交通費	480	480	0	理事会費用弁償
通信運搬費	720	620	100	郵送料等法人割
消耗品費	100	200	△ 100	消耗品法人割
修繕費	74	74	0	
印刷製本費	300	1,110	△ 810	
光熱水料費	30	30	0	電気代等法人割
賃借料	416	416	0	
保険料	198	198	0	
委託費	700	400	300	
租税公課	16	29	△ 13	
支払負担金	320	320	0	全シ協、連合会
雑費	500	1,000	△ 500	
経常費用計	654,993	621,583	33,410	
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 30,891	△ 15,551	△ 15,340	
特定資産評価損益等	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	△ 30,891	△ 15,551	△ 15,340	
2.経常外増減の部			0	
(1)経常外収益			0	
固定資産除却益	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	
(2)経常外費用			0	
固定資産除却損	0	0	0	
車両運搬具除却損	0	0	0	
什器備品除却損	0	0	0	
電話加入権除却損	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 30,891	△ 15,551	△ 15,340	
一般正味財産期首残高	90,137	105,688	△ 15,551	
一般正味財産期末残高	59,246	90,137	△ 30,891	
II 指定正味財産増減の部			0	
(1)収益			0	
収益計	0	0	0	
(2)費用			0	
費用計	0	0	0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	59,246	90,137	△ 30,891	

収支予算書に係る注記

1. 投資活動及び財務活動に関する見込

(単位：円)

	予算額	前年度予算額	増減
【投資活動収支の部】			
〈投資活動収入〉			
固定資産売却収入	0	0	0
車輛運搬具売却収入	0	0	0
什器備品売却収入	0	0	0
電話加入権売却収入	0	0	0
敷金・保証金等戻り収入	0	0	0
敷金戻り収入	0	0	0
保証金戻り収入	0	0	0
預託金戻り収入	0	0	0
特定資産取崩収入	30,891,000	15,551,000	15,340,000
退職給付引当資産取崩収入	0	0	0
減価償却引当資産取崩収入	0	0	0
財政運営資金資産取崩収入	30,891,000	15,551,000	15,340,000
投資活動収入計	30,891,000	15,551,000	15,340,000
〈投資活動支出〉			
固定資産取得支出	0	0	0
車輛運搬具購入支出	0	0	0
什器備品購入支出	0	0	0
電話加入権購入支出	0	0	0
リース資産購入支出	0	0	0
敷金・保証金等支出	0	0	0
敷金支出	0	0	0
保証金支出	0	0	0
預託金支出	0	0	0
特定資産取得支出	5,009,000	4,102,000	907,000
退職給付引当資産取得支出	5,009,000	4,102,000	907,000
減価償却引当資産取得支出	0	0	0
財政運営資金積立資産取得支出	0	0	0
投資活動支出計	5,009,000	4,102,000	907,000
【財務活動収支の部】			
〈財務活動収入〉			
借入金収入	0	0	0
短期借入金収入	0	0	0
リース債務収入	0	0	0
リース債務収入	0	0	0
財務活動収入計	0	0	0
〈財務活動支出〉			
借入金返済支出	0	0	0
短期借入金返済支出	0	0	0
リース債務返済支出	0	0	0
リース債務返済支出	0	0	0
財務活動支出計	0	0	0

2. 配分金収入の増加に連動する（配分金支出、材料費等支出）に限り予算額を超えて執行することができる。

3. 借入金限度額

 年度内の短期借入金限度額は10,000千円とする。

4. 債務負担額

令和6年度	12,809,556円
令和7年度	12,809,556円
令和8年度	12,809,556円

安全の誓い

私たちは、シルバー人材センターの理念である自主・自立、共働・共助の精神にのっとり、地域社会に貢献するため、鋭意就業に励んでおります。

健康で働ける喜びを持ち、安全・適正就業に心がけ、シルバー人材センター事業の発展のため、公益社団法人倉敷市シルバー人材センター入会会員は、将来に渡り一人ひとりが就業規則、就業の注意事項を守り、無災害・無事故就業に取り組み、着実な成果を上げることを、ここに誓います。

会 員 の 心 得

- 1 会員は、「安全は、すべてに優先する」を基本として、就業途上、就業中の安全に努めること。
- 2 会員は、常に自己の健康管理に心がけ、無理な健康状態で就業しないこと。
- 3 会員は、センターの構成員として、率先して仕事の開拓・確保に努めること。
- 4 会員は、センターから提供された仕事について、内容をよく確認し、理解したうえで引き受けるとともに、引き受けた仕事は、責任をもって誠実に履行すること。
- 5 会員は、発注者やお客様に不愉快な思いをさせないように心がけ、「親切・ていねい」に対応し、安心と信頼を得るように努めること。
- 6 会員は、直接発注者と仕事の契約をしないこと。発注者から契約以外の仕事を依頼された場合は、速やかにセンターに連絡すること。
- 7 会員は、仕事上で知り得た個人の秘密に関しては、決して他に漏らさないこと。
- 8 会員は、シルバー人材センター事業の趣旨・目的を自覚し、働くことを通じて地域社会に貢献して行くこと。